



Goldman Sachs Gives コミュニティ支援プログラム

進学支援プロジェクト『大学進学支援事業』 第9期奨学生募集！！

グローバルな金融機関であるゴールドマン・サックス社のご寄付により
受験の為に**進学塾代**および大学在学中の**学費と生活費**を援助します。

支援内容

- (1) 進学塾代（平成30年4月から大学入学までの通塾経費）の支給
- (2) 修学資金（大学在学中の学費および生活費）の支給
- (3) 東京ボランティア・市民活動センターのケースワーカーとの面談
- (4) 奨学生同士の交流会や学習会
- (5) 施設の担当職員の情報交換会の実施
- (6) ゴールドマン・サックス社の社員の方々との交流

応募対象

- (1) 平成30年度に大学受験をし、平成31年度に大学へ入学する予定の方
- (2) 東京都が委託する児童養護施設・児童自立支援施設・自立援助ホーム
・母子生活支援施設に応募締切日（平成29年11月30日）時点で在籍し、
原則大学入学時まで在籍予定のある方で、東京都が措置する方
- (3) 本センターのケースワーカーと定期的に（月1回程度）面談できる方
- (4) 大学入学後の居住地が東京都および近隣県を予定している方
- (5) 現在在籍している施設から大学進学および入学後の支援が得られる方

支援期間

平成30年4月～大学卒業

募集人数

3名以内

申込方法

募集要項をお読みいただき、申請書類をご記入の上、必要書類を添付し、施設経由で東京ボランティア・市民活動センター宛お送り下さい。

応募締切

平成29年11月30日（木）消印有効

※詳細は裏面をご覧ください

主催団体：社会福祉法人 東京都社会福祉協議会

東京ボランティア・市民活動センター（担当：松崎・今井・脇田・河村）

〒162-0823 新宿区神楽河岸1-1 セントラルプラザ10階

TEL： 03-3235-1171 FAX： 03-3235-0050

・本事業専用WEBサイトおよび申請用紙ダウンロード → <http://gs.tvac.or.jp/>

(1) 進学塾代の内容

平成30年4月からの進学塾代 **年額20万円** (上限) および夏期・冬期講習代 **15万円** (上限)

(2) 修学資金の内容(参考:平成29年度時点)

※下記の修学資金は他制度や併給可能な奨学金等を活用後、不足分を限度額内で支給します。施設種別により利用要件が異なりますので、表面の主催団体にお問合せください。

① 受験料

大学受験に際し、1校分の実費をお支払いします。(合格した場合のみ)

② 入学金および初年度の学費

初年度、大学に納付する入学金や学費(授業料、教科書代、施設整備費などの諸経費)の実費をお支払いします。

③ 2年生以降の学費

大学2年生からの学費(授業料、施設整備費などの諸費用)を大学在学中継続して支給します。

④ 初年度の学用品および教科書・参考図書類の経費

進学に際し必要な学用品および教科書・参考図書類に関する経費を、上限額の範囲内で支給します。

◆一人あたり 上限 **81,260円**(一時金・実費)、2年生からの教科書・参考図書代は実費を支給します。

⑤ 通学費

自宅から大学へ通学するのに要する年間の経費を、上限額の範囲内で継続して支給します。ただし、原則として、公共交通機関を利用し、6ヶ月定期を購入することを前提とします。

◆一人あたり 上限 **60,000円/年間**(実費)

⑥ 転居費

進学にともなう転居等に要する費用を上限額の範囲内でお支払いします。

◆一人あたり 上限 **320,000円**(一時金・実費)

⑦ 生活費

入学にともなうアパート家賃、公共料金、社会保険料、食費、衣料費など、生活に必要な経費を上限額の範囲内で在学中継続して支給します。◆一人あたり 上限 **840,000円/年間**(実費)

※親族等と同居する場合は原則生活費の支給はありません(但し本人の社会保険料は除く)

大学進学支援事業に関する説明会(施設職員対象、学生同伴可)

第1回 平成29年 9月 3日(日) 13時~15時

第2回 平成29年10月 6日(金) 13時~15時

第3回 平成29年11月11日(土) 10時~12時

飯田橋セントラルプラザ12階C会議室

(新宿区神楽河岸1-1)

※当日は、事業内容の説明とともに個別相談も行いますので、表面の連絡先まで事前にお申込み下さい。上記の日程でご都合のつかない場合は別途お電話にてご相談ください。

担当職員の声

大学進学を希望し、奨学金の取得にチャレンジする子ども達が出てきています。卒業生に「大学生」が多くなることで、中学生の段階から将来設計を考えることができるようになるという良い変化が起きています。

社会福祉法人 救世軍社会福祉事業団 救世軍機恵子寮
自立支援コーディネーター 太田 朋子

奨学生の声(卒業生)

この4年間で一番大切だと思ったのは、人と繋がっているということです。一人では大変なことも施設の職員、ケースワーカー、大学やバイトの友人がいたから乗り越えられたことがたくさんありました。

東京未来大学こども心理学部こども心理学科卒業

奨学生の声

奨学金を申し込む際に大学で学ぶ目的や意欲を明確にすることができました。教職インターンシップで教える側の立場の難しさや子どものちょっとした成長や優しさに触れる喜びを学びました。一つ一つの授業の大切さを実感しています。

明星大学教育学部教育学科3年生

奨学生の声

奨学金をいただいている安心感があることで、体力的にも精神的にも負担が減りました。金銭的サポートが受けられていることで、自分らしい生活が維持できているので、本当に感謝しかありません。

立教大学コミュニティ福祉学部福祉学科2年生